



国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

〔創立〕1964年3月2日 〔例会日〕毎・金曜日12時30分 〔例会場〕オークラ千葉ホテル
 〔会長〕竹尾 白 〔幹事〕橋口 徹 〔会報委員長〕松尾 博之
 〔事務局〕〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2014-2015年度

第2497回



平成27年5月29日(金)点鐘12:30 《曇り》

- ◆◆ロータリーソング 『それでこそロータリー』
- ◆◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

◆◆お客様紹介

- ◇本日のゲストスピーカー
千葉県総合企画部 部長 鶴巻 郁夫様
- ◇東京日本橋ロータリークラブ
清水 雄輔様

◆◆会長挨拶及び報告 竹尾 白会長

先日、職業奉仕委員長のご尽力により企画された金沢旅行に行ってきました。27名の会員が参加しました。皆さんお疲れ様でした。足腰が疲れてしまって、3日経ちましたがまだ回復しません…。有難うございました。

金沢老舗のお菓子屋さん、「加賀藩御用菓子司・森八」さんの一時期のつまづきから再建への闘いの日々を綴った本を買ってきました。

千葉県総合企画部長の鶴巻様、後程卓話を宜しくお願い致します。

◆◆委員会報告

第13回国際里山の集い開催のご案内

伊藤 和夫会長エレクトより

日時⇒ 7月20日(月) 09:30 集合
 場所⇒ 若葉区谷当町

親睦活動委員会より (五十嵐博章委員長)

日時⇒ 6月19日(金) スタート08:00
 場所⇒ 麻倉ゴルフ倶楽部 (佐倉市内田)



大勢の皆様のご参加をお待ちしております！！

◆◆ニコニコボックス報告

《竹尾 白会長・橋口 徹幹事》

5月24日・25日の金沢旅行、お疲れ様でした。事故もなく、皆様無事に帰宅されて何よりでした。

《小野 成子会員》

金沢の旅行では、皆様に大変ご迷惑をお掛けし、誠に申し訳ございませんでした。2日前より準備を整え万全を期したつもりでしたが、痛み止めを念のため飲み休みましたが、その薬に睡眠剤が入っているとは知らずにあのようなことになりました。本当に申し訳ございませんでした。

《江沢 一男会員》

鶴巻様、お忙しい中を有難うございます。卓話を宜しくお願い致します。

《鈴木 美津江会員》

この度の「職場訪問及び親睦旅行」には、大勢の方がご参加下さり有難うございました。

北陸新幹線、箔一本店、森八・・・と職業奉仕にて考え、水野会員に無理を言って実行していただきました。

いかがでございましたか？ 皆様のご協力に感謝申し上げます。

本日のニコニコボックス	7,000 円	累計	778,354 円
金の箱	456 円	累計	25,907 円

◆◆出席報告 (会員数53名)

出席者数33	欠席者数20	ビジター 2	修正出席率71.70 %
--------	--------	--------	--------------

千葉市内例会変更のご案内 [メニュー](#) [キャップ](#) [にご利用下さい。](#)

千葉RC	月	—	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	6/23・6/30	センシティブタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	6/16・6/30	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	6/24	京成ホテルミラマレ
千葉北RC	水	6/24	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	6/25	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	6/18・6/25	京成ホテルミラマレ

本日の卓話

演 題⇒「東京オリンピック・パラリンピックに
向けた県の取り組み」

卓話者⇒ 千葉県総合企画部
部長 鶴巻 郁夫 様



ご紹介戴きました鶴巻です。本日はオリンピック関連での県の取り組みについてお話致します。

まず、皆さんがロータリーという見識のある方々ということをお忘れ、とある店の番頭さんだと思って下さい。

オリンピックを商機ととらえて、何をしようとするでしょうか。オリンピックを見に来た客に高い土産品を売ったり、特別サービスの付いた宿泊を提供したりして、鼻息荒く書き入れるでしょうか。丁稚さんだったらともかく、番頭さんだったら店が続くことを考えてそんなことはしないでしょう。県もそれくらいは考えて、オリンピックを機に千葉県を訪れた方々に「千葉県はぼったくりバーだった」ではなく「千葉県は良いところだから再度行ってみたい」と思って貰えるようにしたい、そのお披露目の絶好の機会としたいと考えました。

そのためにはどうしたら良いか。県庁に出入りしている記者さんたちに訊いてみると、試合は一瞬で終わってしまうのであって、記事は事前に書きあがっているそうです。むしろ、事前のキャンプでの出来事などを取材して物語を練っていくのだそうです。それであれば、キャンプ地を誘致するのが手取り早い。これはスター選手を呼んで千葉という知名度をあげようというのではなく、キャンプ期間中のオフの日に、キャンプ取材中の記者、或いはファンというミニ記者が千葉県の観光地を訪れて全世界に発信してくれることを期待するものです。もちろん、オフの日だけでなく、キャンプ見学の合間に、宿泊が心地よい、食べ物が美味しいということを発信して欲しい。また、パラリンピックの選手団のキャンプを誘致できて、移動も何不自由することなく快適だったという印象を持ってもらえれば、パラリンピックの何かの種目にとって聖地とまでは言わないにしても、有名なキャンプ地になって、今後ずっと使ってもらえるかも知れない。

こういう打算から、キャンプ誘致を第一の使命としてアクションを起こしてきました。競技の会場を持ってこんな発想は全く無いとは言いませんが、二の次でした。というのも、東京で会場整備に巨額の費用が掛るという報道もありましたし、競技会場は見に来るかも知れませんが、下品な言い方をすれば、ファンが一定期間泊まって金を落とすのはキャンプ地周辺だろうというソロバン弾きがあったからです。しかしながら、県議会の中でも競技会場が埼玉や神奈川にあるのに千葉にないのは執行部

の怠慢であるという声がありましたし、県民感情としても一つくらいという気持ちはあったらと思います。その流れで、先月新聞報道にもありましたような幕張メッセを競技会場としてという話ができました。県民の感情を金に換算するのは番頭にはできませんが、番頭でなく、大店の店主が、損得抜きで決断をしたということです。

そこで本題の東京オリンピック決定後に千葉県として何をしてきたかという話に移ります。

東京オリンピックが正式決定した翌営業日に私が指示したのは、キャンプを誘致するにあたって県としてなすべきことの整理と、それを方針案とか取組案とかいう形で纏めること、それを企画部が勝手に纏めたのではなくて知事の指示のもとに県庁全体で纏めた格好にするためのおぜん立ての3つでした。

このように指示をした時の役人の仕事は速くて、すぐに取組方針案が固まり、庁内の会議で了解を取り付けることができました。それが、大会のサポート、人と物のスムーズな流れの確保、魅力ある観光地づくりとおもてなし力の向上、キャンプ招致とスポーツ振興による地域づくり、戦略的な千葉の魅力発信という5つの柱からなるものです。これはこれで、役人的には何をすれば良いか分かりやすく、しかもそれがオーソライズされているのだから仕事の参考になるのは間違いなかったわけです。

ただ、ここで考えなければならなかったのは、これはキャンプを呼ぼうとして始めたことだということです。キャンプを計画している人がわざわざ千葉県庁の取り組みを見てきっと良いところに違いないと確信してくれるなんてこと、ほぼ間違いなく無い。

そこで参考にしたのが外資系金融会社のプレゼンでして、千葉をローマ字で分解して紙芝居のようにして、これで千葉をPRするように言いました。千葉県の職員はまじめすぎるので、言い出したらきかない上司にならないと、頭を柔らかくした発想をしてくれません。その紙芝居を見せながら来年のリオでPRしている場面を想像したのですが、空港・ホテル・キャンプ場を結ぶ足にしても、外国の方が楽しめる食の場面にしても、企業の方々の力をお借りしなければ何もできません。企業の方ばかりでなくて、例えば通訳などをボランティアで賄うとすれば学生を含む県民に期待するしかありません。

そうすると、企業も含めた県民の方々総体として何を期待するか、考え方を明らかにした方が良いのではないかということになりました。その場合、県として一方的に期待を寄せるというよりも、企業や学者、マスコミの方の意見も伺って、県としてどういう態勢で臨むべきかを整理すべきということになり、そのような組織も立ち上げて話合って戴きました。その過程で嬉しかったのは、ある企業の方から、「きちんと考え方を整理してくれば、企業として社会の構成員としてその方向で動くから」と言われたことです。

結果として、親組織の下に9つのプロジェクトチームをつくり、一つ一つの課題ごとに関連企業の方々の参画を

得て数カ月の間に戦略を策定出来ました。9つの戦略とは、キャンプ・国際大会・MICE の誘致、競技力向上、成田空港の利便性向上・交通ネットワークやアクセスの強化、バリアフリー化の促進、魅力ある観光地づくり、外国人受け入れ態勢、危機管理・安全対策、機運の醸成、千葉の魅力発信です。

ご関心をお持ち頂ければ後でご高覧いただきたいのですが、例えば、バリアフリーに関する戦略で言えば、車いす対応の施設にするというハード面はもちろん、宿泊・観光施設の職員の方々が適切に対応できるようにするソフト面だけでなく、そもそも県民全体の理解が進むような心のバリアフリーという記述も盛り込んでいます。パラリンピックを見て、「障害があるのにこんなプレーができるなんて凄い」と感心するのではなく、1アスリートとしての美技に感動して欲しい。「障害があるのに」と割り引いている限り、尊敬は生まれませんのではないかと。

このように体系だって戦略をまとめたのも全国で最も早いと自負していますが、言うだけだったら誰でもできると言う人はいるでしょう。

当然のように、予算付けもしっかりやっています。僕に言わせれば、道路ネットワークの整備もオリンピックの際の選手・観客の円滑な移動に資するものなことなのですが、そうでなくとも、27年度の事業として、オリンピック・パラリンピック関連施設整備貸付事業3億円枠、北京世界陸上事前合宿受入事業7千7百万円、アスリート強化事業1億円などのほか、外国人観光客誘致のための無線 LAN 整備事業1億円などなど、しっかりとした対応をしています。

ロータリーの皆さんにも関係しそうな事業をご紹介します。既に昨年度から事業化していますが、通訳ボランティアに関する事業です。スマホで通訳するアプリが開発中だそうですが、十分な速度・質が確保されるか何の保証もありませんし、アナログチックかも知れないが人による通訳が大量に必要だと思っています。では、千葉県に一体何人通訳ボランティアを務めることのできる方がいらっしゃるのか。訊いてみたところ、県と市でダブって登録されているかも知れないし、語学ボランティアとして登録していても、通訳が可能かどうかは分からないと。要するに何人スタッフがいるか誰も知らないことが分かった。では、一定の質を持つボランティアを大量に養成するにはどうしたら良いか。ここでキーとなるのが千葉県の人口構成です。実は会社を定年になるであろう60歳前後の方々が千葉県では毎年8万人ほどいらっしゃいます。その中には東京の商社などにお勤めになっていて、海外との取引もバリバリなされている方もいるのではないかと。そのような生きた語学力をお持ちの方は訓練する過程が必要ないわけですし、5年後まで遊ばせておくのは勿体ない。その方々には、単なるボランティアとしてだけ活躍していただくのではなく、学生などを通訳ボランティアとして育て上げる師匠ボランティアとして活躍して戴こうと思いました。外国語を扱う大学の関係者などにお声掛けしたところ賛同を戴きまして、養成講座のプログラム編成までご協力下さいました。本番までに、通

訳1000人のほか外国語対応ができるボランティアスタッフを合わせて2000人程度確保する必要があります。皆さんご自身も、また社員の中に興味をお持ちの方がいらしたら、お忙しいとは承知していますが、是非チャレンジして戴きたい。

県がこのような動きをしていると、いろいろな話が舞い込んで来ます。というか、こちらからすれば、協力者が現れるという印象なのですが、例えば、先ほど少し申し上げた北京陸上の直前キャンプの話は順天堂大学さんの紹介がなければ、全く伝手はありませんでした。誘致なんて経験が全く無かったにも拘わらず、どこらへんがポイントになるかなどを教えて戴いたお陰で、アメリカチーム、オランダ・ベルギーチームのキャンプ誘致に成功しました。今知事が渡欧して調印式に出ています。実績0から2というのは、1から100になるより遥かに大きなことです。

他にも、ある市からは体育館をパラリンピックのキャンプが出来るような仕様にしたいのだという相談を受けました。そのような仕様にしておけば、障害のある市民が利用できるようになるのはもちろん、高齢者がスポーツを楽しむ健康に過ごせるための基礎インフラとなる筈ですから、オリンピック・パラリンピックを一過性のものにしない大事な取り組みだと言えます。

オリンピック以後も観光客やアスリートに来てもらおうとする戦略もオリンピックの効果を一過性のものとしなないための取り組みですが、そのような経済効果だけでなく、生活面でも将来を考えて飛躍ができる切掛けとなるのだらうと確信しています。

テーブルトークとのことでしたので、体系だった説明でなく、トピックスの提供になってしまいましたが、私の話は以上です。ご静聴ありがとうございました



第2498回例会

日時→ 平成27年6月5日(金) 点鐘12:30

卓話→ 『会員ミニ卓話』

第2499回例会

日時→ 平成27年6月12日(金) 点鐘12:30

卓話→ 『インド野生黒蜂蜜を求めて』

卓話者→ 有限会社シタール

代表取締役 増田 泰観様